

授業概要

行動や感情は中枢神経系の活動により引き起こされる。神経・生理心理学は、神経学・生理学的手法を用いて脳と行動の関係を調べ、人間の「心」やそのメカニズムを明らかにしようとする学問である。本講義では、神経系の構造、神経活動の基本から始め、感覚知覚、学習、記憶、情動、欲求・睡眠、ストレスなどをとりあげ、これらがどのような神経メカニズムにより成立しているのかを講義する。

また、神経・生理心理学の基礎的研究や臨床場面への応用（精神疾患、高次脳機能障害）について学ぶことで、心を生み出す脳の仕組みについて講義する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション、神経生理心理学とは何か
第 2 回	脳の構造 1：脳の構造
第 3 回	脳の構造 2：神経細胞の働き
第 4 回	脳と知覚 1：視覚
第 5 回	脳と知覚 2：聴覚、味覚、嗅覚、皮膚感覚
第 6 回	脳と記憶
第 7 回	脳と学習
第 8 回	中間試験・振り返り
第 9 回	脳と情動、睡眠
第 10 回	脳とストレス
第 11 回	脳とこころの病気
第 12 回	高次脳機能障害 1：失語
第 13 回	高次脳機能障害 2：失認、失行、半側空間無視
第 14 回	高次脳機能障害 3：注意障害、記憶障害
第 15 回	高次脳機能障害 4：遂行機能障害・まとめ
第 16 回	定期試験

到達目標

- ・ 脳・神経系の基本構造や機能について知識を身につけ、こころと神経活動の関連性を説明できる。
- ・ ストレスや精神疾患、高次脳機能障害の背景にある脳や神経系の働きについて知識を身につけ、神経生理学的観点からストレスや障害を説明できる。
- ・ の健康教育の現状や意義を捉えることができる。

履修上の注意

- ・ 本講義受講にあたって、「心理学概論Ⅰ」ならびに「心理学概論Ⅱ」を取得済みであることが望ましい。
- ・ 大幅な遅刻・早退、その他受講態度に問題がある者は出席とみなさず、退室を求める。（講義時に配布するコメントカードを受け取り、これを講義終了時に提出すること。）
- ・ 本講義に関連して、心理学に関する調査や実験の協力を依頼する可能性がある。
- ・ その他の注意事項について初回の授業時に伝えるため、初回授業には必ず出席すること。

予習・復習

【予習】受講済みである他の心理学関連の講義の内容を振り返っておくこと。

【復習】授業で紹介した資料や書籍を読み、理解を深めること

評価方法

講義各回で提出を求めるコメントカード(30%)と中間試験・定期試験(併せて 70%)に基づいて評価を行う。

テキスト

特に指定しない。講義は配布資料に基づいて進め、参考書はその都度紹介する。